

平成 2 1 年 6 月能代市議会定例会

市 長 説 明 要 旨

平成21年6月能代市議会定例会の開会にあたり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要をご報告いたします。

はじめに、閉校した小学校の物品の売払いについてであります。小学校の統合により不用となった物品のうち、統合後の学校や市役所等でも再利用に至らなかった物品を市民の皆様等へ売払いを行いました。

旧仁鮎、旧天神、旧種梅小学校の3校で販売を終えており、来場者数は900人を超え、売上総額は64万8,587円となっております。

次に、総合計画の推進についてであります。計画策定時と同様に、まちづくりやボランティアなどの活動をされている方々に参加していただき、これまでの取組を協働で評価、改善するため、市民協働会議を7月に設置することとし、本日より団体推薦の委員公募を開始しております。

この会議では、総合計画で掲げた「めざす姿や状態」を表す目標指標をもとに、市民の目線で点検し、新たな取組や改善策などを提案していただき、平成22年度からの実施計画に反映させてまいりたいと考えております。

広聴事業についてであります。市ではこれまで、対話で図る「市政の推進」を目指し、広く市政に対するご意見を伺う「ランチで対話」「まちかどミーティング」を開催してまいりました。

今年度は各地域を回り、市の現状や進むべき方向性・課題などを説明しながら、直接市民の皆様と対話をする「地域巡回型のまちかどミーティング」を、今月29日から開催いたします。地域センターや公民館等を会場に、夜7時から開催いたしますので、より多くの市民の皆様に参加していただき、地域の資源をまちづくりに活かすアイデアや、地域の抱える課題等について直接語り合い、市政推進の参考にしてまいりたいと考えております。

次に、国民健康保険事業についてであります。21年度当初予算は、合併協議に基づく不均一課税の統一と財源不足が見込まれるため、健全な国保事業の運営ができるよう試算した税率で編成いたしました。

その後、加入者の所得や医療費の動向、20年度決算の状況を踏まえて、様々な観点から検討してまいりましたが、当初予算よりある程度の軽減は図ることができたものの、なお大幅な負担をお願いすることとなりました。

加入者の皆様には、こうした状況をご理解していただくため「広報のしろ」や「のしろの国保」等により、わかりやすく説明し周知に努めてまいります。

次に、企業支援・雇用緊急対策についてであります。求職者の雇用機会を創出するための取組として、県の緊急雇用創出臨時対策基金を活用し、市の直接雇用や民間企業への委託事業を行い、現在までに25人の雇用を実現しております。また、県のふるさと雇用再生臨時対策基金を活用し、「能代街なか元気再生事業」等により新たに15人の雇用を目指す事業に取り組むこととし、今定例会に予算を計上しております。

今後、国の補正予算により緊急雇用創出事業費の増額が見込まれますので、事業の追加をお願いしてまいりたいと考えております。

中心市街地活性化についてであります。中心市街地活性化計画を3月末に取りまとめ、今年度からは計画に掲げた「のしろの街歩き」や「バスケットの街づくり事業」等の取組が始まっております。さらに、市民による自発的な事業実施主体として、4月には「能代まちづくり合同会社」が設立され、5月には「畠町大通りプロジェクト委員会」が立ち上がり、それぞれ体制を整え、動き出しております。

市といたしましても、こうした方々と協働して、中心市街地活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、住生活基本計画等策定事業についてであります。当初、市では、住宅施策の基本方針となる住生活基本計画を策定し、併せて、公営住宅ストック総合活用計画の策定も行うこととしておりました。

こうした中、国から、公営住宅ストック総合活用計画に、点検予防や保全的な修繕、耐久性向上等の改善計画を加えた「公営住宅等長寿命化計画」の策定について指針が示され、同計画に基づく事業でなければ、地域住宅交付金の減額や交付対象外となることとなりました。

市では、効率的かつ円滑な建替えや中長期的な改善コストの縮減等を目指し、「公営住宅等長寿命化計画」を策定したいと考えております。

二ツ井・荷上場地区の水道整備についてであります。地域協議会や関係水道組合等へ簡易水道整備計画案について説明したところ、早期着工の声が多く寄せられました。地域住民の健康と生活を守るため、簡易水道として整備することとし、今定例会に関係予算を計上いたしております。

次に、学校給食調理及び運搬等業務の民間委託についてであります。学校給食と学校業務のより効果的で効率的運営を目指し、本年8月から民間委託することとし、学校関係者や市行財政改革推進委員会委員等による選定委員会において審査した結

果、6月5日に受託者を決定いたしております。

今後は、委託先との連携を密にし、安全で安心な学校給食の提供と学校業務の運営に努めてまいります。

銀河連邦子ども留学交流事業についてであります。8月5日から7日まで、銀河連邦に加盟している5つの共和国から約60人の子ども大使が参加し、本市において交流事業を行うこととしております。

能代多目的実験場の見学、宇宙やロケットに関する体験学習のほか、風の松原での自然観察など、能代の自然や歴史・文化にふれながら宇宙への興味を喚起し、子どもたちに地域を越えた友情を育んでもらいたいと思います。

陸上競技場の改修についてであります。関係団体等からの要望、施設配置、工事費、用器具費、財源、開催可能大会規模などについて総合的に検討してまいりましたが、第3種公認陸上競技場として整備することといたしました。今後、実施設計の発注に向け準備を進めてまいります。

次に、単行議案の主なものをご説明いたします。

旧慣による公有財産の使用権の変更は、富根地区が使用権を有する公有財産の一部を、矢崎地区ため池堤体用地とするに当たり、当該旧慣使用権を変更しようとするものであります。

能代市国民健康保険税条例の一部改正は、国民健康保険事業の健全な運営を図るため、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護保険納付金課税額に係る税率を改定しようとするものであります。

能代市農林漁家婦人活動促進施設条例の一部改正は、農林漁家婦人活動促進施設の管理を指定管理者に行わせようとするものであります。

市道路線の認定及び廃止については、開発行為等により市道路線を認定及び廃止しようとするものであります。

このほか、能代市簡易水道事業特別会計の繰入額の変更について提出しております。

平成21年度能代市一般会計補正予算案の概要をご説明いたします。

このたびの補正予算は、これまでに国・県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業については、当面緊急を要するものについて補正をいた

しております。

まず、歳入の主なものとしては、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費補助金の追加、財政調整基金繰入金の増額、能代港改修事業（負担金）債の増額等であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

総務費においては、新型インフルエンザ対策費 1 5 6 万 4 千円等を計上いたしております。

衛生費においては、簡易水道事業特別会計繰出金 1 , 9 6 1 万円等を計上いたしております。

農林水産業費においては、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費 7 2 4 万 2 千円等を計上いたしております。

商工費においては、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費 3 , 3 4 5 万 2 千円等を計上いたしております。

土木費においては、能代港改修事業費負担金 2 , 0 0 0 万円、道路台帳補正業務委託費 4 1 1 万 5 千円等を計上いたしております。

教育費においては、二ツ井小学校建設事業費 4 2 1 万 4 千円等を計上いたしております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は 1 億 8 5 0 万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は 2 5 6 億 8 1 6 万 6 千円となります。

このほか、平成 2 1 年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、ご説明いたしますので省略させていただきます。

以上、よろしくご審議の上、適切な決定を賜りますようお願い申し上げます。